

われらの道



令和6年1月26日発行

文責;附属中 萩原喜成

新年を迎えて

本校は2学期制のため、冬休み明けに全校で集まる機会はありません。学年集会を行い、それぞれの学年における課題やこれからの取組、さらには各学級や先生方の決意などを具体的に話したり聞いたりしています。上の写真は1年生の学年集会での一コマです。主任的那須先生が自身で書いた「爽」の文字を持って話をしています。新年を迎え、爽やかな気持ちで生活し、1年間のまとめをしっかりとしましようと言ったところでしょうか。そして、お世話になった多くの人に、そして、一緒に頑張ってきた仲間へ感謝の気持ちを示してほしいと「贈」の文字も示しました。



2年生は附属中の中心となって取り組むことについて話がありました。3年生は進路決定に向けて、一人一人の頑張りはもちろん、「チーム赤学年」としてのまとまること、仲間を思いやることの大切さについて話されました。

席がき大会

今年も冬休み明けの初日に、恒例の席がき大会を行いました。

年末から練習を重ねた生徒も多く、短時間ですが、集中して半紙に向き合っていました。



心を集中させて真剣に取り組む姿からは、新年を迎えて決意を新たにされた様子がうかがえました。良いスタートを切ることができたように思います。

落ち着いて何かに取組むことは、自分自身を見つめ直す良い機会になります。こんな機会を定期的に設け、学校生活に潤いをもたせられたらと願います。



学校の決まり検討委員会

今年度、甲府市内のすべての小中学校で校則についての見直しが行われています。本校でも、夏休み前から検討を始めました。現在の校則について、生徒や保護者にもアンケートに答えてもらい、今回の見直しは、まず、人権や健康にかかわる決まりについて見直しを進めました。



1月15日(月)には、来年度の生徒会役員と校則の見直しについて話し合うための「学校の決まり検討委員会」を行いました。校長も参加する中で、活発な話し合いが行われました。参加生徒は、生徒の代表として生徒の率直な思いを話していました。今後、PTAの会でも概要



を示す予定です

校則については、今回の見直しで検討終了ではありません。他の

校則も含めて、継続して見直しを進めたり、校則を守る取組をしたりすることで様々なことを学んでほしいと願っています。例えば、附属中生としてよりよい学校生活を送ることです。また、将来社会人になったときにその責任をきちんと果たせるように、きまりについてきちんと理解することです。どのような話し合いをして、どのような見直しができるのか楽しみにしています。

生徒会役員取組

生徒会役員が決まり、挨拶運動や下校指導などの日常活動に力を入れて取り組むとともに、「3年生に贈る会」に向けての取組も始まりました。「Express-附属中 未来行-」のテーマも決まり、本日第1回部門別会議を行いました。「贈」の文字のとおり、お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝える最大の機会です。その思いが込められた取組と当日の会を期待します。

3年生は、附属中学校と後輩に対し、成長した姿を行動と態度で示してください。また、3年間の中学校生活で、様々な事情でできなかったことややり残したことを後輩に話してください。それが附属中学校の新たな伝統へとつながるのです。



